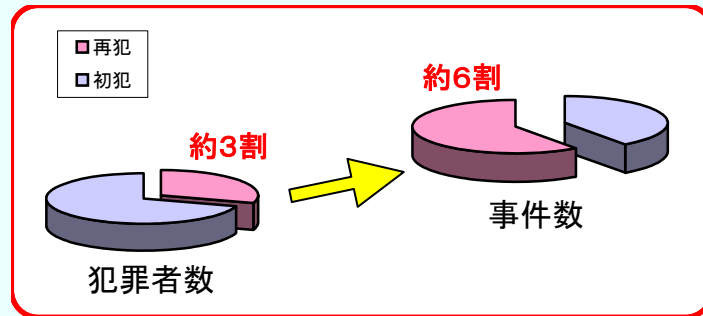


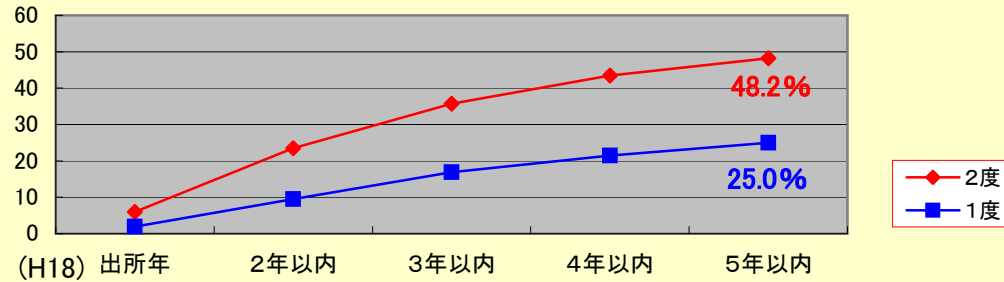
「再犯防止に向けた総合対策」(概要)

再犯の現状と課題

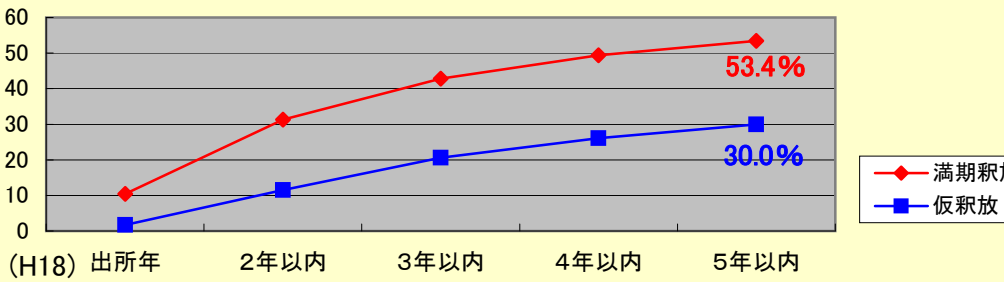
約3割の再犯者が
約6割の犯罪をじゃっ起



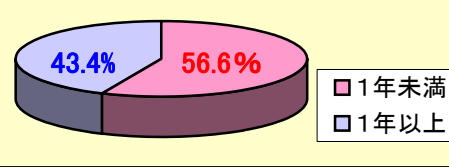
入所2度の者の5年以内の再犯率は初犯者よりも2倍近い高率



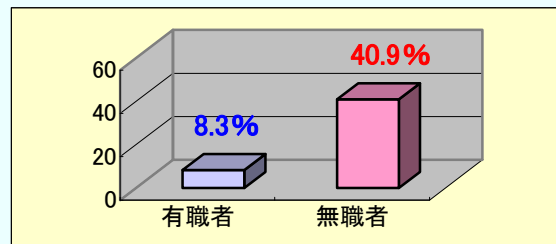
満期釈放者の5年以内の再犯率は仮釈放者よりも20ポイント以上高い



再入者のうち、前回出所時に適当な帰住先が
なかった者の約6割は1年未満に再犯



保護観察中に無職であった者の再犯率は
有職者の約5倍



再犯防止のための重点施策

★は、「刑務所出所者等の再犯防止に向けた当面の取組」にはない、新たな対策を指す。

①対象者の特性に応じた指導及び支援を強化する

【少年・若年者・初入者】★

個々が抱える問題等に応じた指導・支援
関係諸機関連携の下、家族等への相談助言態勢の強化
社会貢献活動等によるコミュニケーション能力の伸長
関係諸機関連携の下、不良交友関係の解消や居場所づくり等の効果的実施

②社会における「居場所」と「出番」を作る

【住居の確保】

更生保護施設の受入れ機能の強化
多様な一時的帰住先の確保
生活指導の強化、知識・情報の提供

【就労の確保】

雇用に結び付ける実践的なサポート
協力雇用主・新たな就労先の確保
少年に対する立ち直り支援の推進

【社会貢献・参加活動の推進】

活動を通じ、自己有用感の醸成
善良な社会の一員としての意識の促進

【犯罪被害者に関連した指導】★

被害者の心情等を理解させる指導の拡充
真摯な謝罪に向けた動機付けの強化
修復的な取組の導入の検討

【満期釈放者等に対する支援】★

満期釈放者、保護観察終了者等への施策の検討
少年院出院者に助言等を行う仕組みの整備

【高齢者・障害者】★

地域生活定着促進事業等による帰住先確保、福祉サービス調整等の推進
個々の必要性に応じた切れ目ない指導・支援の強化

【女性】★

女性に特徴的な傾向の分析に基づく、更に効果的な指導・支援方策の検討・実施
被虐待体験等による精神的問題に対する、社会生活適応のための支援方策の検討・実施

【薬物依存者】

個々の再犯リスクに応じたプログラム、薬物依存症の治療及び生活支援の一体的実施
医療機関、民間団体等との連携による継続的・長期的な指導・支援の充実
薬物依存者の家族等への支援の充実

【性犯罪者】

個々の再犯リスクに応じた一貫性のある指導・支援
諸外国の取組事例等も参考とした新たな対策の検討

③再犯の実態や対策の効果等を調査・分析し、更に効果的な対策を検討・実施する

再犯の実態や対策の有効性等に関する総合的な調査研究の実施★
再犯の実態把握や未然防止のための情報連携体制の構築★
既存の制度や枠組みにとらわれない新たな施策の検討★

④広く国民に理解され、支えられた社会復帰を実現する

啓発事業等の実施★ 刑事司法分野に関する法教育の実施★
保護司制度の基盤整備と充実・強化 日本弁護士連合会等との連携★
民間資源の参画による支援策の展開

【数値目標】出所後2年以内に再び刑務所に入所する者等の割合を今後10年間で20%以上減少

推進体制

- 再犯防止対策WTにおいて、具体的取組についての工程表及び成果目標を策定
- おおむね5年後を目途に、本総合対策の見直しを実施